

能代高校生との「まちかどミーティング」概要

- 日 時・場 所 平成 22 年 7 月 14 日(水) 午後 3 時 40 分～5 時 15 分 能代高校視聴覚室
- 学校側参加者数 プレゼン発表 3 組 34 人 生徒会参加者 34 人 職員 13 人 計 81 人
- 市 側 出 席 者 市長・教育長・環境産業部長・同部次長・農林水産課長
企画部長・同部次長・地域情報課長・同課広報広聴係長・同係主査
- 参考での参加 島根県隠岐郡海士町 公営塾「隠岐國学習センター」 藤岡慎二先生
- 市 長 講 話
- 高校生からのプレゼンテーション(15:55～16:50)

(1) 「故郷能代にもっと元気であってほしい!!」

発表者…2 年生 11 人

発表内容…能代の農産物による活性化、農作業体験、米を使ったお菓子作り・酒造りの推進、廃校を農産物直売所へ。都市化を目指すのではなく能代に今あるもので有効利用を。人と人との直接交流で街おこしを。

市長コメント

- ・提案には、全く同感。
- ・都会への憧れは理解できるが、能代は東京・大阪等にはなりえない。能代の街づくりの基本は、今ここにあるもの・可能性を活かし発展させることであり、実際に、全国に通用する野菜・米がある。
- ・農業は「中心産業」の一つである。今後の世界情勢を考えれば、重要なのは、「エネルギー・環境・食料」だと思うし、能代には肥沃な土地があり、優秀な農産物を作ることができる。農業は大きな財産。
- ・行政も、現在、農林業をさらに発展させて、幹を太くしたいと考え取り組んでいる。
- ・実際に、トップセールス等を実施し、名古屋市場も開拓(ネギ・山ウド・トマト等)している。ネギは全国的な評価もよく、米と組みあわせた商品開発はできると思う。
- ・提案のように、農業を発展させて地域を活性化させるというのは大事なことであり、行政もこれから重点的に取り組んでいきたいと考えている。
- ・「廃校舎を農産物直売所へ」という提案は、従来行政では発想のなかった案である。校舎の場合、販売所としての使い勝手等難しく、すぐに可能なことではないという点はあると思うが、今後、意見として今後廃校舎利活用の一案として検討してみたい。

(2) 「中心から栄える能代」

発表者…2 年生 8 人

発表内容…現在出店計画中のイオンショッピングセンターを街なかに建設させ、イオン商店街とする。畠町・柳町の商店街を活用した新しい形態のショッピングモール。モデルケースとしての話題性と他県からの集客も期待できる。

市長コメント…

- ・現在のイオン出店計画は、東能代地域に中心となる核店舗とそれに連なるテナントでモール街を構成するものだが、提案のイメージは、現在の柳町ジャスコを充実させて核店舗とし、畠町・柳町の商店街にテナントを配置する形と受けとった。
- ・とても参考となったし、それが実現できれば素晴らしいが、現実的には、現在でも空店舗の利用に際して、貸してくれる店舗がなかなかないことと、計画的な店舗の「連続性」を持たせることができにくく、利便性に欠ける危惧がある。
- ・それから、計画上の総面積は、アクロスの2倍・ジャスコの3倍であり、「連続性」を持たせるために、その位の面積を求めたいとしても、街なかでは不可能。地価の面でも、中心地と郊外は全く単価が違う。
- ・現在のジャスコは、日常生活に密着した店舗として、新規計画の郊外型イオンは、少しグレードの高い品ぞろえとして差別化を図ろうとしており、そして、現ジャスコを核店舗

として、柳町・畠町の商店街をその補完する店舗として利便性を考えて整備し、提案いただいたように「面」で捉えて魅力を増し活性化を図ろうという検討はしているので理解をお願いしたい。

- ・従来はなかった「イオン商店街」という発想は、ユニークで柔軟な提案として聞かせてもらった。

(3) 「パレットのしろ」

発表者…2年生10人、1年生5人

発表内容…シャッター街にてシャッターを開くきっかけ（歩行者天国、フリマ等の実施）を作る「Open the shutter」。ストリートバスケット大会等による「バスケットの街能代復興計画」、能代の美味しいものを市民全員に知ってもらうための企画「Know（の）代物産展」。

市長コメント…

- ・盛り沢山の提言で、様々な視点があり感心した。
- ・まず「Open the shutter」。確かにシャッターアートはシャッターを閉めてることが前提なので「開けることから始めよう」という発想はそのとおり。ただ、決して「閉めっぱなし」という前提ではなく、「賑わい」という視点で、閉めた状態が殺風景という印象だったので始めたことを理解してほしい。今後は、芸術面を考慮し市出身の画家に依頼するとか、人の興味を引くための工夫をしていきたい。開けた状態が持続することがいいのは間違いない。
- ・畠町を歩行者天国にして、様々なイベントをとというのはそのとおりだと思う。例えば、市や各学校等にも様々な寄贈された絵等があると思うが、シャッターを開けてもらい、ショーウィンドウにその絵を飾って見て廻る「まちかどギャラリー」や、同時にフリーマーケット・チャレンジショップ・地域物産展を開催したり、路上にオープンカフェを設置したりととても素晴らしいと思うし、やってみたいという声もあるが、畠町は道路も広く交通規制も大変。今年は二ツ井の商店街で「まちかどギャラリー」を開催するよう計画しているところ。
- ・「バスケットの街」「木都」と冠を付けるが、付ける以上は、その「バスケット」や「木」で街を活性化させなければならないと思っている。提案された駅前十字路でのイベント等も実際に具体化が可能か考えてみたい。
- ・それから、ラグビーでは長野の菅平高原が大学ラグビー界の聖地として全国の強豪校が集まり合宿等行っているが、同様に、高校バスケット界の合宿が能代でできないか模索しようと動きだした。そのためには地元のバスケットチームが強くあらねばならない。今年、市職員に国体バスケットの優勝経験者を採用したので、まず、ジュニアの育成に力を注ぎたい。それから、全国高校バスケット界の指導者講習を開催できないか検討している。能代には、「アリナス」という合宿環境もあるし、能代工業という強豪校（題材）もあるので、指導者に能代のバスケット環境を理解してもらい、その後、全国の強豪校に合宿をしないか誘致しようと考えている。
- ・旧二小での「スラムダンク 番外編」はとてもいい案だが、作者の井上先生は本当に多忙で、以前「のしろカップ」の折に、登場人物の垂れ幕作成を依頼しようとしたが、実現できていない。この提案は念頭になかったが、夢のある話なので、今も伝手（つて）はあるので、検討していきたいと思う。
- ・「ストリートバスケット」「ミニマムフリースロー」等は、従来も単発では実施しているが、提案のように、畠町の活性化と一体となって、今まで話された様々なイベントと一緒に開催できれば素晴らしいと思うので、実現可能か関係機関との協議も含めて検討していきたい。
- ・街の活性化は、イベントのみではできないが、イベントを折り込みながら少しでもシャッターを開けることができるように検討していきたい。

- ・「物産展」もそのとおりだと思う。現在、毎年「産業フェア」を総合体育館で開催しており、その中で「物産展」も行っているが、もっと積極的な活動ができないか、関係者に呼び掛けて検討しているところ。そして、他にもいいものが沢山あるので、市民にも知ってほしいし、さらに全国に発信できる体制を整えて行きたいと考えている。
- ・今日の提言で、「B 級グルメによる街興し」ということもあったが、能代にあるいい物にさらに付加価値を付けて新しい物を産みだしていく努力もしていきたい。
- ・PR という点では、市で実際に行っていることを今日初めて聞いた方もいると思う。行政としての PR 不足はあると思うので、そういった点も努力していきたい。

○「隠岐國学習センター」 藤岡慎二先生から(16:50～16:55)

- ・東京出身だが、地域活性化等に興味があり研究しており、縁があつて島根県海士町でお世話になっている。
- ・島根県海士町でも「子ども議会」と称して、小 6 生が町長に直に意見を述べ提案する取り組みをしており、現地の方たちの言葉で「地域活性化とは、“地域を活性化する”のではなく、“地域が活性化すること”。地域とは住民(老若男女問わず)であり、一人ひとりが活性化すること」というのが印象的であり、今日のプレゼンテーションでそれを思いだした。こういう取り組みは素晴らしいと思う。
- ・新潟県に、今、観光資源となっている築 300 年程の「町屋」という古い街並みがあるが、つい 20 年前までは、誰もそこに価値があるとは思わず、早く取り壊せという意見も多かったそうである。しかし、たった一人の意見をきっかけに今の姿がある。皆さんも何気なく目にし心に留めた風景等をブログ等で情報発信することで変わることもあるかもしれない。それが“地域が活性化すること” だと思う。
- ・プレゼンの中で「若者が帰って来る街」という言葉があつたが、沖縄のある校長先生が、「若者が帰って来る 3 つの条件」ということで、「①楽しい場所、②安心できる場所、③自分が成長できる場所」をあげており、これが揃う所には人が自然に集まるという言葉聞き感銘を受けた。自分も、今海士町で「場作り」をめざし、教育を通じて地域活性化に取り組んでいる。今日はとても参考になったので、島に持ちかえり頑張っていきたい。

○フリートーク(16:55～15:15)

- ・2 年生…市政として、バスケを始めとしたスポーツには力を注いでいるようだが、もう少し、文化面にも金をかけてほしい。校内では、吹奏楽部の話として楽器を買う金もないと聞く。この方面に力を入れることでもっとおもしろいことができると思う。

市長…私は、今の世の中が心配でならない。それは、モノは豊かになったが心は貧しくなったのではないかということ。戦後の苦しい時代、先輩達は少しでも豊かになりたいとの思いで努力し今の繁栄があるが、今の時代、親子の間に殺傷事件を起こしたりと陰惨な事件が多くなった。なぜかと考えた時、モノの豊かさ「文明」は発達したが、「文化・心」の面をないがしろにしてきたのではないか。その結果が今の時代になったと思う。

今後は、「文明」のみに軸足を置くのではなく、「文明」と「文化」のバランスのとれた社会を作ることが、政治・行政の役割だと思っている。能代は、スポーツ重視の印象があるかもしれないが、スポーツや文化を区別することなく、心豊かな人間育成のため文化度の高い街にしたいと考えている。

吹奏楽部の話は大変だと思う。能代高校は県立高なので市は手を出せないが、中学校も同様で、今年度予算を 3 倍にして、文化面での支援をしているので理解してほしい。

- ・2 年生…市長の先ほどの話で、農産物を名古屋に売り込んでいるということがあったが、自分で調べた限りでは、東京都内にアンテナショップが 2 軒あるようだが、他の地域・都市の情報は調べていなかった。他にどこに売り込んでいるか教えてほしい。それから、廃校舎活用の中で、実際に可能な部分はあるのか。

市長…説明が少し不足していたが、能代ネギは、アンテナショップや物産館等に出荷しているのではなく、卸売市場へ出荷である。内ほとんどは東京の大田市場、そして横浜、名古屋へ売り込みを図っている。同じ東京でも築地には出していない。今能代ネギはとても人気があり、単品で総額9億5千万程の実績がある。実はもっともっと欲しいという声があるが、生産が追いつかない。残念だが、生産者も高齢化しており、増産の要求に応えられない現状がある。トマトも出せばまちがいなく売れるがこちらもなかなか増産できない。目下の悩みはそこである。よその市では何を売ればいいのか悩んでいるが、能代は売れるものがあるのに、増産できないもどかしさがある。

今の、アンテナショップや物産館等の件だが、市でも出さないかという声もあるが、場所代が月に百万もかかり、単独市として出すのは躊躇している状態である。

廃校舎活用については、まだ具体化したものはないが、市役所内でチームを作り検討している段階。あくまでも私見だが、例えば、二ツ井の旧天神小学校は隣が天神様という神社で、米代川がすぐ脇をゆったりと流れており、昔の舟運の船着き場であった。向かいの七座山は今でも天然秋田杉が生い茂る原生林の山で、その環境を活かし「森と水」をテーマにして、釣り人の活動の起点や、カヌー愛好者の製作・保管・活動のベースとしての活用ができないかと考えている。このように、各学校毎にテーマを決めて考えていけばいいと考えている。旧富根小はある企業から引き合いがあるようだし、旧切石小も違う形で使いたいということがあるようなので、それぞれのテーマで考えていきたい。

- ・3年生…自分は風呂が大好きで、銭湯に行ったり、おとも苑まで山を登って行って入浴して来たりする。市は自然が豊かだが、その自然の中でゆったりと風呂に入りくつろげる場所が少ないと思う。そういう空間を作ってほしい。

市長…若い年代からは稀だが、市内にそういう風呂・温泉がほしいという要望は高齢者を中心によく言われる。特に二ツ井地区には、今、宿泊できる大きな施設がないので、温泉付で建設をとの要望はよくある。近隣町村にはあるので、市内にもほしいという気持ちはよくわかるが、逆に、近隣にあるが故に、建てたとしても採算が合うかという問題がある。その点でとても難しいと思うが、要望が強くなってくれば考えていかなければならないと考えている。